

技術・家庭（家庭分野）

東京書籍

教育図書

開隆堂

発行者名 採択基準	東京書籍（新しい技術・家庭 家庭分野 自立と共生を目指して）
1 教科の目標からの配慮	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 実践的・体験的な活動や「いつも確かめよう」で確認することで、基礎的な知識や技能が身に付けられるよう配慮されている。</li> <li>・ 問題解決的な学習の流れを繰り返すことで、生活の中の課題を解決する力を伸ばしていくよう配慮されている。</li> <li>・ ガイダンスや各編の導入で生活の営みに係る見方・考え方が例示されている。また学習したことを生活に生かす工夫や実践につながるよう単元のまとめが配慮され、位置づけられている。</li> </ul>
2 生徒の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性  〔本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、フォント、コントラスト、レイアウト等〕	<ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 衣食住の身近な内容を前半に配置し、小学校での学習内容を生かし発展的な学習ができるよう題材が配列されている。</li> <li>(2) 「話し合ってみよう」や「活動」を設け、身近な生活から自分の課題に気づき、学習後の「まとめよう」「生活に生かそう」で学習したことを生かし、生活を工夫、創造するよう題材の構成が工夫されている。</li> <li>(3) 「活動」で提示された実践的・体験的な活動を通して、生徒が主体的に調べたり、友達と協働して比較・検討したりするような発問が設けられ、深い学びが実現できるよう工夫されている。</li> <li>(4) 巻頭の「実習を楽しく安全に進めよう」や「いつもたしかめよう」、各内容実習例に「安全マーク」や「衛生マーク」を付け、安全面や衛生面への注意が喚起されるよう配慮されている。</li> <li>(5) 各内容や説明に関連した鮮明な実物大写真、折り込み頁、図表やイラストなど学習を深めるための資料が豊富で、生徒の内容理解や学ぶ意欲を高めるよう配慮されている。</li> </ol>
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い  〔「基礎的・基本的な知識・技能の習得」のための工夫、「思考力・判断力・表現力等の育成」のための工夫、「主体的に学習に取り組む態度を養う」ための工夫、関連性・連続性、個に応じた学習、他者との協働、まとめと評価〕	<ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 巻頭のガイダンス、「生活の営みに係る見方・考え方の例」「リンク」など学習を進める上での大切な視点が提示されている。</li> <li>(2) 各編の「資料」の図表や「せいかつメモ」など、身近な生活の問題や言葉の意味、地域の行事等、楽しく豆知識を得たり、学習を深める場面で興味・関心をもって資料が活用できたりするよう工夫されている。</li> <li>(3) 生活の営みに係る見方・考え方を働かせる発問を設け、実践的・体験的な活動を通して、主体的・対話的な学習ができるよう工夫されている。</li> <li>(4) 「やってみよう」「考えてみよう」で個別や集団で課題を追究し、「活動」で家庭実践に発展できるよう配慮されている。</li> <li>(5) 内容に焦点化したさし絵・写真・図表等が豊富に掲載され、生徒が興味・関心をもって取り組み、個人やグループで生活の課題を考えられるよう配慮されている。</li> <li>(6) 基礎的内容を「まとめよう」「自己評価」等スモールステップの問いでまとめや振り返りをし、各編の「学習のまとめ」で評価の観点が明確になるよう工夫されている。</li> </ol>
4 全体的な特色	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 生活での実践に必要な基礎的技能を「いつも確かめよう」で繰り返し確認し、身に付けられるよう配慮されている。</li> <li>・ 内容ごとに自立するために大切な「意志決定のプロセス」について重視した扱いになっている。</li> </ul>

発行者名 採択基準	教育図書 (New 技術・家庭 家庭分野 くらしを創造する)
1 教科の目標からの配慮	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「やってみよう」で実践的・体験的な活動を通して、生活に必要な基礎的知識や技能を身に付けられるよう配慮されている。</li> <li>・ 「学びを生かそう」において、「やってみよう」で身につけた力を生かし工夫して問題解決的な学習を繰り返し行い、生活の課題を解決していきこうとする力を伸ばしていくよう配慮されている。</li> <li>・ 「センパイに聞こう」で学習に関わる地域や社会の人々のメッセージから、学びを生活に生かそうとする実践的な態度が育てられるよう配慮されている。</li> </ul>
2 生徒の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性  (本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、フォント、コントラスト、レイアウト等)	<ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 練習題材の実習やロールプレイング、疑似体験などを組み合わせ、生徒の発達段階や実態を踏まえて題材が配列されている。</li> <li>(2) 各章の導入の「見つめる」から身近な生活の中の問題に気づき、「やってみよう」「学びを生かそう」の流れで学習することで、自分の生活を工夫創造するように題材の構成が工夫されている。</li> <li>(3) 「考えてみよう」「話し合ってみよう」にある実践的・体験的な活動を通して、生徒が興味・関心をもって追究し、家庭生活を実感的にとらえられるよう配慮されている。</li> <li>(4) 巻頭の「実習は安全に取り組もう」や各内容実習例に「安全マーク」や「衛生マーク」を付け、安全や衛生への注意が喚起されるよう配慮されている。</li> <li>(5) 各内容や説明に関連した鮮明な実物大写真、興味・関心をもてる折り込み頁、見やすい図表やイラスト、精選された文章から、生徒の内容理解や学ぶ意欲を高めるよう工夫されている。</li> </ol>
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い (「基礎的・基本的な知識・技能の習得」のための工夫、「思考力・判断力・表現力等の育成」のための工夫、「主体的に学習に取り組む態度を養う」ための工夫、関連性・連続性、個に応じた学習、他者との協働、まとめと評価)	<ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 「やってみよう」「学びを生かそう」で身につけた知識・技能を関連付けて活用し、課題解決的な学習となるよう配慮されている。</li> <li>(2) 巻頭の折り込み頁の写真やイラスト、「学びを生かそう」で家庭生活や地域の行事のあり方等、関連付けられるよう配慮されている。</li> <li>(3) 各題材の「見つめる」で生活の営みに係る見方・考え方の視点で生活事象を捉え、「学びを生かそう」で生徒が課題を選択して主体的・対話的に取り組めるような題材の取扱いがされている。</li> <li>(4) 「自立度チェック」「考えてみよう」で個別や集団で課題を追究し、家庭と連携して学習を生活に生かせるよう工夫されている。</li> <li>(5) さし絵・写真・図表等の内容を、身近な生活の課題解決や現代社会の課題の想起に活用できるよう配慮されている。</li> <li>(6) 各章の「ふり返る」で身に付いた知識・技能を確認し、章末の「学習のふり返り」で資質・能力の三つの柱に対応した観点に沿って評価できるよう配慮されている。</li> </ol>
4 全体的な特色	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「学びを生かそう」「生活の課題と実践」などで学習過程を意識した実践を繰り返し、課題を解決する力が身に付くよう配慮されている。</li> <li>・ 「考えてみよう」などのワークが多数掲載され、主体的・対話的で深い学びの実現に向け工夫されている。</li> <li>・ 掲載されている説明や資料が精選され、生徒が読みやすくなるよう配慮されている。</li> </ul>

発行者名 採択基準	開隆堂（技術・家庭 家庭分野） 生活の土台 自立と共生）
1 教科の目標からの配慮	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 実践的・体験的な活動を通して、生活に必要な基礎的知識や技能を身に付けられるよう配慮されている。</li> <li>・ 「生活にいかそう」で、問題解決的な学習を行うことで生活の課題を解決する力を育てられるよう配慮されている。</li> <li>・ 身に付けた知識や技能を生かし、地域や社会に目を向け持続可能な生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を育てられるよう配慮されている。</li> </ul>
2 生徒の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性  本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、フォント、コントラスト、レイアウト等	<ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 「小学校での学び」の振り返りから知識・技能を身に付け、実生活や持続可能な社会への活用に配慮し、題材が配列されている。</li> <li>(2) 家庭や地域の人々との関わりなどの身近な生活の問題に目を向け、課題解決への流れと具体的な例示で、生活を工夫創造するように題材の構成が工夫されている。</li> <li>(3) 「やってみよう」にある実践的・体験的な活動を通して、生徒が興味・関心をもって追究し、家庭生活を実感的に捉えられるよう配慮されている。</li> <li>(4) 調理や製作等の安全に関わる基礎・基本や、各内容実習例に「安全マーク」や「衛生マーク」を付け、安全面や衛生面への注意が喚起されるよう配慮されている。</li> <li>(5) 各内容や説明に関連した鮮明な実物大写真、折り込み頁、図表やイラストが豊富で、生徒の内容理解や学ぶ意欲を高めるよう配慮されている。</li> </ol>
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い  「基礎的・基本的な知識・技能の習得」のための工夫、「思考力・判断力・表現力等の育成」のための工夫、「主体的に学習に取り組む態度を養う」ための工夫、関連性・連続性、個に応じた学習、他者との協働、まとめと評価	<ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 各題材や教科書全体を通して、家庭の機能や自立と共生、生活の見方・考え方を関連付けた学習となるよう配慮されている。</li> <li>(2) 「先輩からのエール」や具体的な活動例、「生活にいかそう」で家庭生活や地域の行事等で活用できるよう配慮されている。</li> <li>(3) 生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な活動や「生活にいかそう」で主体的・対話的に学習できるよう、生活に身近な題材の取扱いがされている。</li> <li>(4) 「やってみよう」「考えてみよう」で個別や集団で課題を追究し、「生活にいかそう」で家庭実践につなげられるよう配慮されている。</li> <li>(5) さし絵・写真・図表等の内容を活用して課題解決につなげたり、現代的な生活の課題を考えたりできるよう配慮されている。</li> <li>(6) 小題材ごとの「ふりかえり」「生活にいかそう」を設け、自分の言葉で考え、学習内容の定着や生活への発展が図れるよう配慮されている。</li> <li>(7) 「先輩からのエール」では、単元の内容に関連した「先輩」の姿がQ&amp;Aで示され、キャリア教育として「将来を考える」場面も設けられている。</li> </ol>
4 全体的な特色	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 各内容の最後に、持続可能な社会の項目を設け、課題を理解し、主体的に考え行動できるように内容が工夫されている。</li> <li>・ 各内容のまとめりごとに、「生活にいかそう」で学んだことを生徒の身近な課題にすぐに生かせるよう配慮されている。</li> </ul>